

広島大学大学院
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

スマラン州立大学と意見交換を行いました

フェニックスリーダー育成プログラムでは、平成 28 年 7 月 21 日に、スマラン州立大学の Zaenuri Mastur 数理科学部長を代表とする 24 名の教員、学生の訪問団と意見交換を行いました。本プログラムからは、神谷プログラム責任者を含む 8 名のプログラム教職員が参加しました。

1965 年に創立したスマラン州立大学は、インドネシアジャワ島中央に所在するインドネシアでも有数の大学で 8 学部、約 21,000 人の学生が在籍しています。

意見交換では、初めに神谷責任者、Zaenuri Mastur 数理科学部長から挨拶があった後に、本プログラムの概要の紹介、入学試験の情報案内を行いました。

続いて行った質疑応答では、本プログラムへの入学に関する質問が相次ぎ、プログラムを海外に拡大するための非常に充実した機会となりました。



意見交換の様子



記念写真